

浦和駅周辺帰宅困難者対策協議会の概要・取組状況等

1 概 要

- ◆ 活動エリア : 浦和駅周辺
- ◆ 会長 : JR浦和駅副駅長
- ◆ 会員数 : 16人

駅	事業者	行政	その他
1人	7人	7人	1人

- ◆ 乗降客数 88,213人/日(令和5年度)
- ◆ 地域の特徴
県庁・さいたま市役所などの官公庁の最寄駅であり、駅周辺にパルコや伊勢丹などの大型商業施設がある。
- ◆ 誘導マニュアル等の策定の有無
一時滞在施設運営ガイドライン(さいたま市版)
※新型コロナウイルス感染症5類移行のため改定
一時滞在施設マップ

2 今年度の活動内容

- ◆ 会議の開催回数: 年間2回
- ◆ 備蓄状況
被害想定ของさいたま市内での帰宅困難者数14,249人に対して、災害用ビスケット3食分、飲料水475ml×3本、保温シート1枚、非常用排便袋5袋を備蓄。
(さいたま市で予算措置)
- ◆ その他の活動 施設独自の開設訓練の支援

3 今年度の訓練内容

- ◆ 訓練実施日 : 令和5年11月20日(月)
※大宮駅周辺帰宅困難者対策協議会も参加
実施場所は大宮駅・浦和駅で交互に開催
※令和6年11月19日(火) : 大宮駅周辺帰宅困難者対策協議会主催の実動訓練に参加
- ◆ 実施場所 : 浦和駅構内、埼玉会館
- ◆ 参加者 : 70名程度
(協議会関係者、一時滞在施設関係者等)
- ◆ 訓練項目・概要
①浦和駅構内利用者保護訓練
②帰宅困難者誘導訓練
③一時滞在施設開設運営訓練
《概要》
要配慮者の対応なども踏まえた、帰宅困難者対応の実動訓練を実施。

※その他、年1回、情報収集伝達訓練を実施。